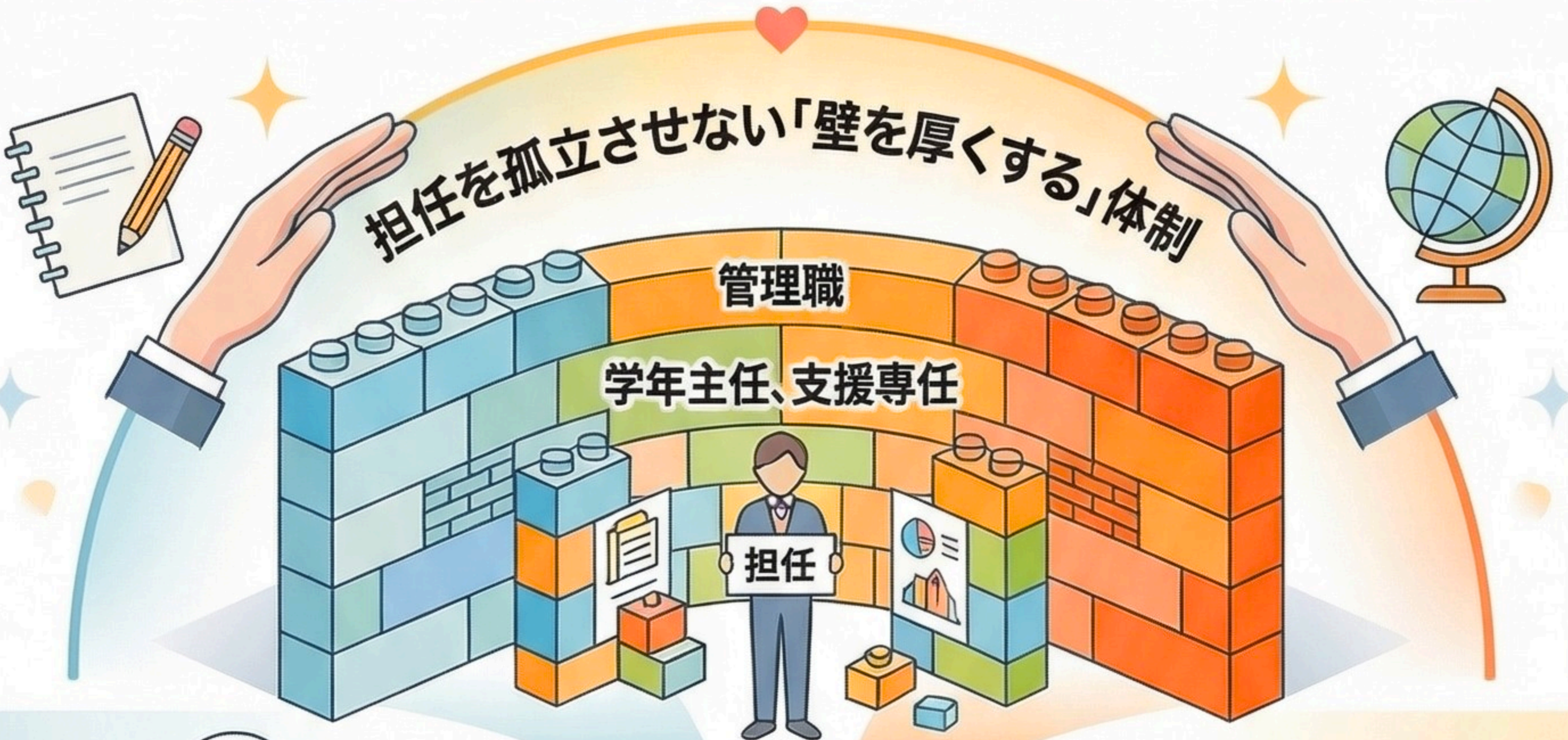


令和8年度 並木小学校 学校経営方針：

自分が好き！ 友達が好き！ 並木小が好き！



教職員の「余白」を創出し
一人ひとりのマインドを
アップデート

会議の効率化、ICT活用、事務効率化

先行投資型支援
(開発的児童指導)
課題が深刻化する前の支援に投入

5つの柱による教育活動

① 個別の支援の充実



多様な学びの場（登校支援、通級
ききららルーム、つくし館）で
個別の指導計画に基づいた支援

② 協働的な学びの充実



コミュニケーション、援助要請
スキルを 育み協働的な学びを
通じて社会性を支援



③ 弥栄小・弥栄中との連携
合同学習、丁寧な引き越ぎで
環境変化を緩やかにし
「再編成・中1ギャップ」を軽減

⑤ 組織的な教職員集団

縦の連携を重視し、SC(スクール
カウンセラー)やSSW(スクール
ソーシャルワーカー)と協働



④ 自己肯定感の醸成
「個別の支援」と「協働的な学び」を
両輪とし、自己決定・自己達成の
場を増やし自信を育む

重点目標「自分が好き！ 友達が好き！ 並木小が好き！」

「ちがいを大切にし、わくわくする並木小を全員で創り出す



自己肯定感
肯定率70%以上を目指す
キャリアサポートや個別の指導計画の振り返りを通じ、年間で児童の自己肯定感を評価・向上させます



閉校に向けた
「大胆な取り組み」
前年踏襲をやめ、「今」一番良い
と思うことにフルスイング